



Azure NetApp Files 向けクラウドデータセンスの導入を開始する方 法をご確認ください Cloud Manager

Tom Onacki
July 08, 2021

目次

Azure NetApp Files 向けクラウドデータセンスの導入を開始する方法をご確認ください	1
クイックスタート	1
スキャンするデータソースを検出しています	2
Cloud Data Sense インスタンスの導入	2
作業環境でクラウドデータを有効に活用	2
Cloud Data Sense がボリュームにアクセスできることの確認	3
ボリュームのコンプライアンススキャンの有効化と無効化	4

Azure NetApp Files 向けクラウドデータセンスの導入を開始する方法をご確認ください

Azure NetApp Files 向けクラウドデータセンスの導入を開始するには、いくつかの手順を実行します。

クイックスタート

これらの手順を実行すると、すぐに作業を開始できます。また、残りのセクションまでスクロールして詳細を確認することもできます。

目的のデータが含まれているデータソースを検出します をクリックしてください

Azure NetApp Files ボリュームをスキャンする前に、"[構成を検出するには、Cloud Manager が設定されている必要があります](#)"。

Cloud Data Sense インスタンスを導入する

"[Cloud Manager に Cloud Data Sense を導入](#)" インスタンスが展開されていない場合。

Cloud Data Sense を有効にして、スキャンするボリュームを選択します

コンプライアンス * をクリックし、* 構成 * タブを選択して、特定の作業環境でボリュームのコンプライアンススキャンを有効にします。

ボリュームへのアクセスを確認

Cloud Data Sense が有効になったので、すべてのボリュームにアクセスできることを確認します。

- クラウドデータセンスインスタンスには、各 Azure NetApp Files サブネットへのネットワーク接続が必要です。
- これらのポートが Data Sense インスタンスに対して開いていることを確認します。
 - NFS –ポート 111 および 2049。
 - CIFS の場合 - ポート 139 および 445
- NFS ボリュームエクスポートポリシーで、データセンスインスタンスからのアクセスを許可する必要があります。
- CIFS ボリュームをスキャンするには、Active Directory クレデンシャルが必要です。

コンプライアンス * > * 構成 * > * CIFS クレデンシャルの編集 * をクリックし、クレデンシャルを入力します。

スキャンするボリュームを管理します

スキャンするボリュームを選択または選択解除すると、Cloud Data Sense でスキャンが開始または停止します。

スキャンするデータソースを検出しています

スキャンするデータソースがまだ Cloud Manager 環境にない場合は、ここでキャンバスに追加できます。

Azure NetApp Files の場合、"[構成を検出するには、Cloud Manager が設定されている必要があります](#)"。

Cloud Data Sense インスタンスの導入

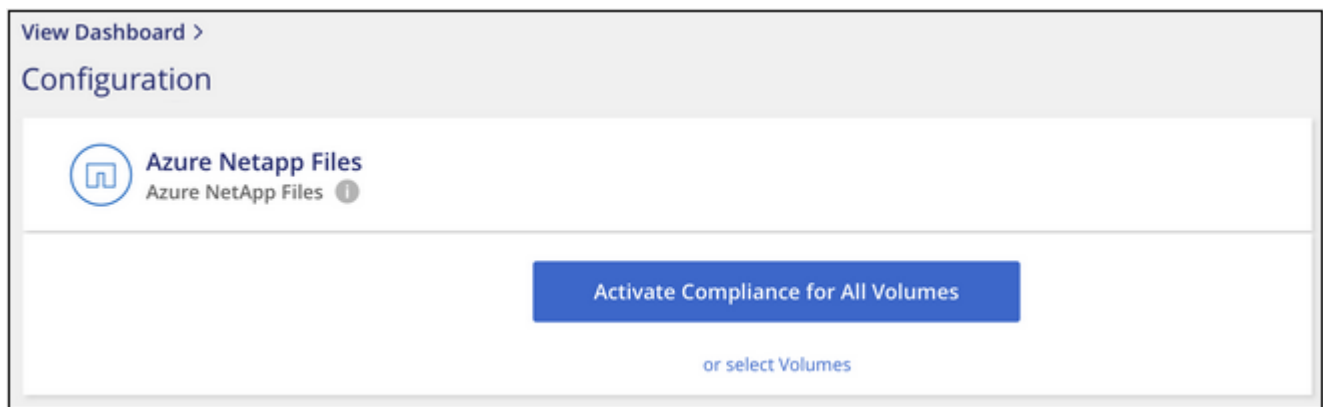
"[クラウドデータの導入センス](#)" インスタンスが展開されていない場合。

Azure NetApp Files ボリュームをスキャンするときは、データセンスをクラウドに導入する必要があります。また、スキャンするボリュームと同じリージョンに導入する必要があります。

作業環境でクラウドデータを有効に活用

Azure NetApp Files ボリュームでクラウドデータセンスを有効にすることができます。

1. Cloud Manager の上部で、* Data Sense * をクリックし、* Configuration * タブを選択します。



タブのスクリーンショット。"]

2. 作業環境内のすべてのボリュームをスキャンするには、* すべてのボリュームのスキャンをアクティブ化 * をクリックします。

この方法で有効にすると、すべてのボリュームに対して「マッピングと分類」の完全なスキャンが実行されます。

特定のボリュームに対してのみスキャンを有効にする場合、または「マッピング専用」のスキャンのみを実行する場合は、* をクリックするか、ボリュームを選択して、スキャンするボリュームを選択します。

を参照してください [ボリュームのコンプライアンススキャンの有効化と無効化](#) を参照してください。

Cloud Data Sense により、作業環境で選択したボリュームのスキャンが開始されます。結果は、Cloud Data Sense が最初のスキャンを完了するとすぐに Compliance ダッシュボードに表示されます。所要時間はデータ量によって異なります。数分から数時間かかる場合もあります。

Cloud Data Sense がボリュームにアクセスできることの確認

ネットワーク、セキュリティグループ、およびエクスポートポリシーを確認して、Cloud Data Sense でボリュームにアクセスできることを確認します。CIFS ボリュームにアクセスできるようにするには、CIFS クレデンシャルをデータセンスに指定する必要があります。

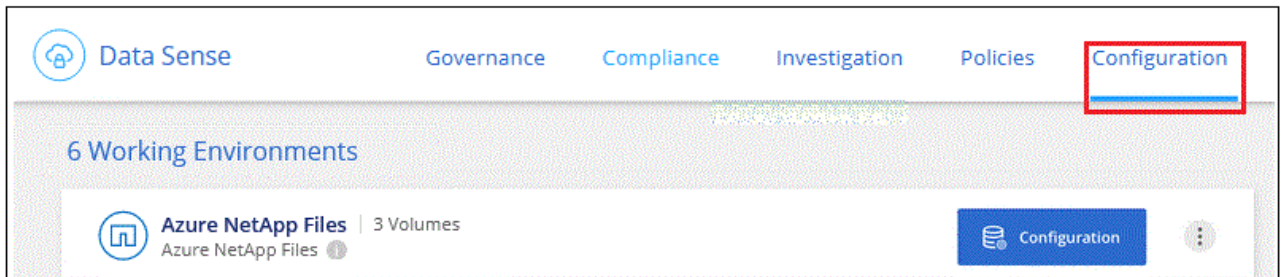
手順

1. クラウドデータセンスインスタンスと、Azure NetApp Files 用のボリュームを含む各ネットワークの間にネットワーク接続が確立されていることを確認します。



Azure NetApp Files の場合、Cloud Data Sense は Cloud Manager と同じリージョンにあるボリュームのみをスキャンできます。

2. 次のポートがデータセンスインスタンスに対して開いていることを確認します。
 - NFS -ポート 111 および 2049。
 - CIFS の場合 - ポート 139 および 445
3. NFS ボリュームのエクスポートポリシーに、各ボリュームのデータにアクセスできるように Data sense インスタンスの IP アドレスが含まれていることを確認します。
4. CIFS を使用する場合は、CIFS ボリュームをスキャンできるように、Active Directory クレデンシャルを使用したデータセンスを設定します。
 - a. Cloud Manager の上部で、* Data Sense * をクリックします。
 - b. [* 構成 *] タブをクリックします。



ボタンを示す [遵守] タブのスクリーンショット。"]

- c. 各作業環境について、* CIFS 資格情報の編集 * をクリックし、システム上の CIFS ボリュームにアクセスするために必要なユーザー名とパスワードを入力します。

クレデンシャルは読み取り専用ですが、管理者のクレデンシャルを指定することで、データセンスは昇格された権限が必要なデータを読み取ることができます。クレデンシャルは Cloud Data Sense インスタンスに保存されます。

クレデンシャルを入力すると、すべての CIFS ボリュームが認証されたことを示すメッセージが表示されます。

[← Back](#)

Scan Status



Cloud Volumes ONTAP

Name: _____

Newdatastore

Volumes:

- 12 Continuously Scanning
- 8 Not Scanning

CIFS Credentials Status:

- ✔ Valid CIFS credentials for all accessible volumes

 [View Details](#)

 [Edit CIFS Credentials](#)

5. Configuration page で、 ***View Details *** をクリックして、各 CIFS および NFS ボリュームのステータスを確認し、エラーを修正します。

たとえば、次の図は 3 つのボリュームを示しています。1 つは、データセンシブインスタンスとボリュームの間のネットワーク接続の問題が原因でクラウドデータセンスでスキャンできないボリュームです。

Newdatastore Scan Configuration

☒ Map & Classify All | 22/62 Volumes selected for Data Sense scan [Edit CIFS Credentials](#)

Scan	Storage Repository (Volume)	Type	Status	Required Action
Off Map Map & Classify	AC_Source_clone_copy	NFS (DP)	● Continuously Scanning	
Off Map Map & Classify	AC_Source_copy	NFS (DP)	● Continuously Scanning	
Off Map Map & Classify	AC_Source_copywww	NFS	● Not Scanning	
Off Map Map & Classify	A_Source_Tier_Demo_copy	NFS	● Continuously Scanning	

ボリュウムのコンプライアンススキンの有効化と無効化

作業環境では、設定ページからいつでもスキャンのマッピングまたはマッピングおよび分類スキャンを停止または開始できます。すべてのボリュームをスキャンすることを推奨します。

cognigoWE Scan Configuration
4/79 Volumes selected for Data Sense scan
Edit CIFS Credentials

Scan	Storage Repository (Volume)	Type	Status	Required Action
<input type="radio"/> Off <input checked="" type="radio"/> Map <input type="radio"/> Map & Classify	AdiNF5VoL_copy	NFS	No Access	Access to the NFS volume was denied. Make sure tha...
<input type="radio"/> Off <input checked="" type="radio"/> Map <input type="radio"/> Map & Classify	AdiProtest2501	NFS	Continuously Scanning	
<input type="radio"/> Off <input checked="" type="radio"/> Map <input type="radio"/> Map & Classify	AlexTest	NFS	No Access	Access to the NFS volume was denied. Make sure tha...
<input checked="" type="radio"/> Off <input type="radio"/> Map <input type="radio"/> Map & Classify	AlexTestSecond	NFS	Not Scanning	
<input type="radio"/> Off <input checked="" type="radio"/> Map <input type="radio"/> Map & Classify	MoreDataNeed1000	NFS	Continuously Scanning	

終了：	手順：
ボリュームに対してマッピングのみのスキャンを有効にします	[* マップ *] をクリックします

終了：	手順：
ボリュームでフルスキャンを有効にします	[マップと分類 *] をクリックします
すべてのボリュームでフルスキャンを有効にします	[* Map & Classify all* （すべてのマップと分類）] スライダーを右に移動します
ボリュームのスキャンを無効にします	[* Off *] をクリックします
すべてのボリュームでスキャンを無効にします	[* Map & Classify all* （すべてのマップと分類）] スライダーを左に移動します



作業環境に追加した新しいボリュームは、すべてのボリュームのコンプライアンスのアクティブ化 * 設定が有効になっている場合にのみ自動的にスキャンされます。この設定を無効にすると、作業環境で作成する新しいボリュームごとにスキャンを有効にする必要があります。

Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.